

2021年4月1日

放射線治療を受けられた患者さんへ

(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号)の規定により、研究内容の情報を公開し、研究対象となる方等が拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせ、拒否される場合などがありましたら、以下の連絡先・相談窓口へご照会ください。診療情報の利用を拒否された場合も不利益を受けることはありません。また、この研究については、香川大学医学部倫理委員会の審議にもとづく医学部長の許可を得ています。

[研究課題名]

強度変調放射線治療の線量検証における Portal Dosimetry に関する検討

[研究機関の長] 香川大学医学部長

[研究責任者名・所属] 高橋 洋輔 放射線部 診療放射線技師

[研究の目的]

強度変調放射線治療(intensity modulate radiation therapy: IMRT)は、コンピュータによる最適化計算を用いて治療計画を行う技術であり、腫瘍の大きさや形状に一致した線量分布を作成することができます。ただし、計算精度や治療装置の機械的、線量的な照射精度が十分でない場合は計画とは異なる線量投与が行われる危険性があります。このため、IMRT では治療計画毎に計画された線量が正しくデータ転送され、治療装置によって照射されるかどうかを線量検証する必要があります。

近年、線量検証をより効果的に行うための検出器として Electronic Portal Imaging Device (EPID)が注目されています。EPID は治療装置に装備された Flat Panel Detector(FPD)であり位置照合画像の取得に使用されています。

EPID の画像取得はリアルタイムで取得と解析ができ、検証に費やす時間を短縮できるという利点があります。一方で、従来のフィルムを使用した方法のような吸収線量分布を測定出来ないという欠点があります。

本研究では患者毎の治療計画の検証結果と PD の関係を治療範囲、治療部位に対して明らかにすることを目的とします。

[研究の方法]

対象となる患者さん

2016年1月1日から2020年12月31日の間に当院で頭頸部に対して強度変調放射線治療を実施した患者

利用する検体・診療情報

診療情報： 治療計画用 CT 画像 放射線治療計画データ 患者個別線量検証記録

[研究組織]

香川大学医学部附属病院 放射線部 高橋洋輔

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患

者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院 放射線部 高橋洋輔

電話 087-891-2291 (直通)